

乳牛のボディコンディションスコア（BCS）

畜産科学科 2 年生の総合実習ではクラスを 3 分割し、産業一般、養豚、酪農の分野に分かれて実習を行っています。酪農分野では、専門的な知識や技術を身に着けるため、一年間かけて①雌牛の各部の名称、②牛体測定法、③乳牛の家畜審査、④乳牛の健康診断法、⑤牛の直腸検査法、⑥乳牛のボディコンディションスコア、⑦牛乳の検査、⑧フンスコアを学習します。

今回の実習では、乳牛のボディコンディションスコアについて学びました。この実習では、乳牛の栄養管理方法について説明を受けた後、乳牛のボディコンディションスコア（脂肪の蓄積程度）を自ら判定します。不適切な栄養管理が、乳生産量の低下を招いたり、過肥による難産の誘発につながることを知った生徒は真剣な面持ちで、ボディコンディションスコアを判定していました。

同じように見える乳牛も個体ごとに脂肪の蓄積程度が違うことを実感して、生徒の乳牛を見る目が変わり、より一層丁寧に飼育管理に励んでいます。



写真 1. 乳牛の栄養管理についての授業

写真 2. BCS の判定方法についての説明



写真 3. 乳牛の BCS を判定

写真 4. BCS について答え合わせと解説